

# 混迷深まる日米欧の経済を読み解く

みずほ証券チーフマーケットエコノミスト 上野泰也

- \* 歴史的な市場の混乱
- \* 不安の種は目白押し
- \* ドイツ人に「欧州人」意識なし
- \* 声を出す人が多すぎる
- \* 「地力」のあるアメリカ
- \* 復調に必要なのは時間
- \* アメリカの景気腰折れはない
- \* 「変わっていないこと」が重要
- \* 世界のGDPの1割にも満たない
- \* 国内に残っている人は厳しい



**浅野** それでは開会いたします。（拍手）

今日は上野泰也さんに1年半ぶりにおいでいただきました。日本を代表する人気エコノミストですのでご紹介の必要はないと思いますが、こちらでは毎回どうも厳しい、暗い話になりますが、日本経済がこういう状況ではしようがないかもしれません、今年の春には『国家破局カウントダウン』という怖い本を書かれています。

カウントダウンの期間はどのぐらいかと思っ  
て読んでみますが、あまりはつきりはしません  
で、早ければ5年、あるいは10年という感じ  
でした。でも実はそこが怖いところで、いつ本  
当に破局が来るかわからないから何もしない  
という、そういう日本の状況になっているかと思

ます。そういう意味で今日もたぶん怖いお話  
です。そういうのが苦手な方は早めにお休みな  
るとか。 （笑）冗談はともかく、本当にお忙  
しくて毎朝4時起きだそうなんです。それではよ  
しく願います。（拍手）

**上野** 上野でございます。今、暗い話とい  
うことで、きちんと最初に前触れしていただきま  
した。私としても認めざるをえない状況です。  
 （笑） 本当に不思議なほど、私がこちらに参  
ると前後に大変なことが起きています。今回も東  
日本大震災、それから巨大台風の襲来があり、  
それ以上に厳しい海外の話のウエートが今日は  
大きくなりそうです。

特にヨーロッパの債務危機の長期化、深刻化。  
これは、私も日々ニュースを見るのが怖いぐら